

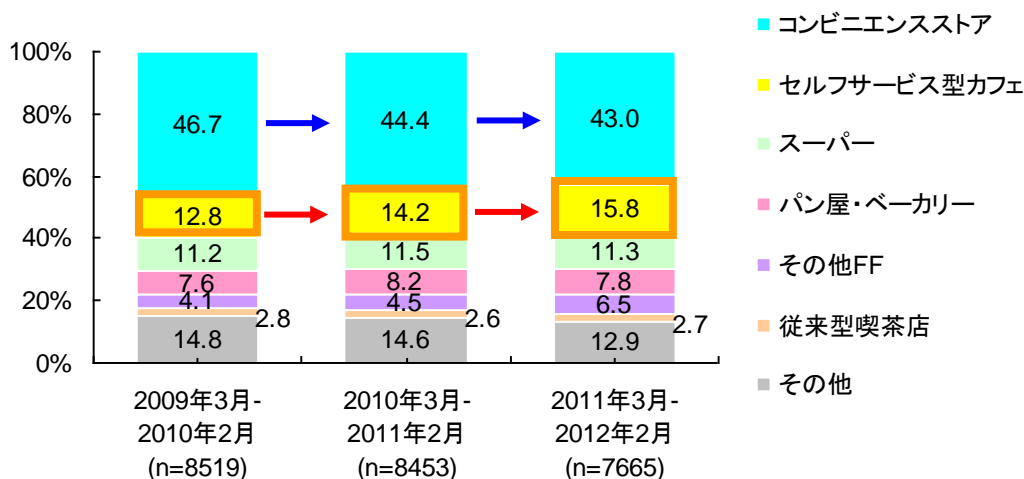
【外食・中食調査レポート】

ー サンドイッチ市場、キーワードは「コンビニ」「カフェ」「男性客」ー (エヌピーディー・ジャパン調べ)

【東京、2012年4月25日】日本の食シーンに定着しているサンドイッチ。これから始まる行楽シーズンでは、一層その存在感が増すことだろう。今回のレポートでは、外食・中食市場における「サンドイッチ市場」を、エヌピーディー・ジャパン(株)が提供する外食中食市場情報サービス『CREST*』から探ってみた。

まず、外食・中食市場における、サンドイッチの購入・喫食業態を見てみる。図表1は、直近3年間で時系列に見たサンドイッチの購入・喫食業態分布である。いずれの年度においても「コンビニエンスストア」がボリュームゾーンであるが、シェアは下降傾向にある(過去3年間で3.7ポイント減)。その一方、次いでシェアの高い「セルフサービス型カフェ」は上昇傾向が続いていることが分かる(過去3年間で3.0ポイント増)。

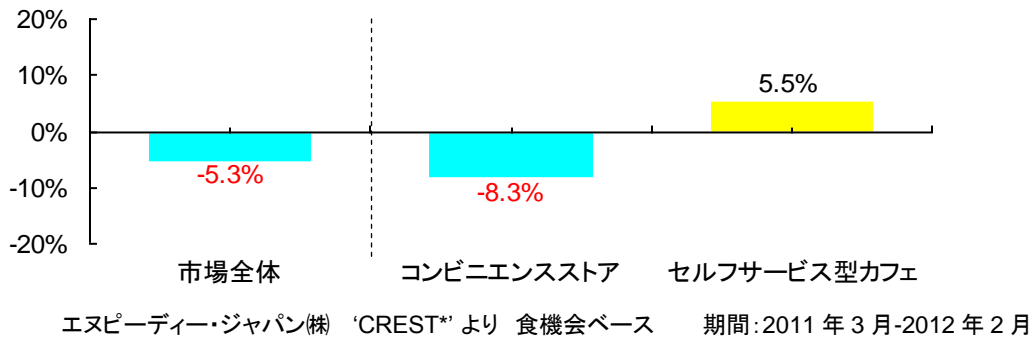
【図表1】 外食・中食市場、サンドイッチ購入・喫食 業態分布



エヌピーディー・ジャパン(株) 'CREST*' より 食機会ベース

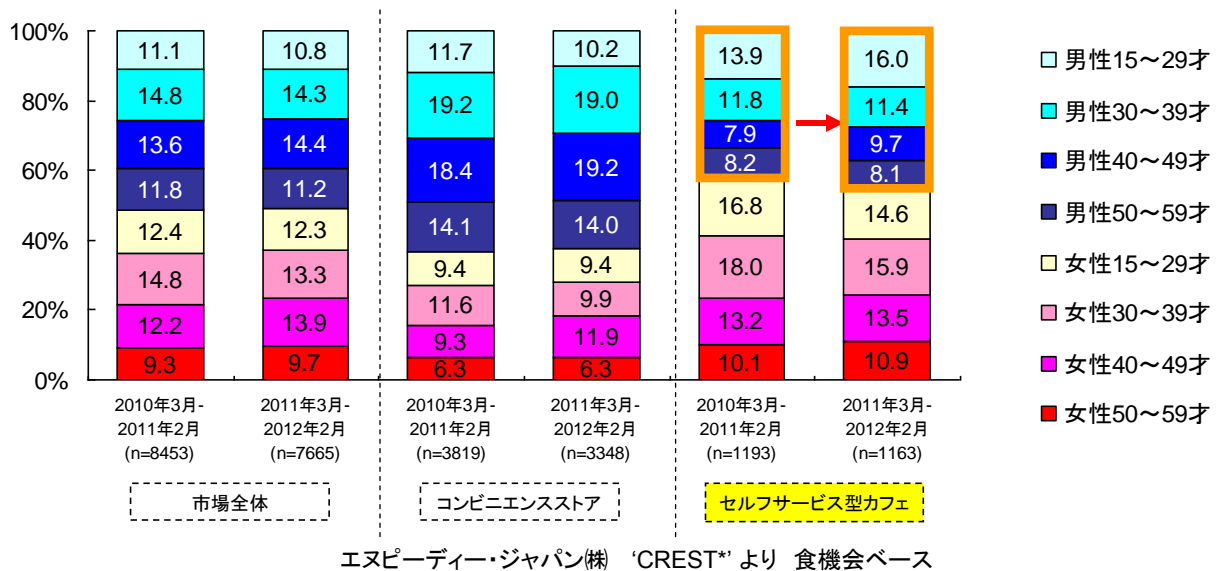
図表2は、サンドイッチ市場全体および同市場におけるシェア上位2業態の、直近1年(2011年3月-翌年2月)の伸び率を表したものである。サンドイッチ市場全体としては、前年同期比-5.3%と縮小しており、ボリュームゾーンの「コンビニエンスストア」においても同-8.3%とマイナス成長であった。対照的に、直近3年においてシェアが上昇基調の「セルフサービス型カフェ」は同+5.5%とプラス成長であった。

【図表 2】 サンドイッチ市場 伸び率（前年同期比）



では、サンドイッチ喫食機会数が伸びたセルフサービス型カフェにおいて、いったいどの層が伸びたのだろうか。図表 3 は直近 1 年と前年同期のサンドイッチ喫食者の性・年齢の構成比を比較したものである。これをみると、サンドイッチ市場全体およびコンビニエンスストアに大きな変化は見られない。セルフサービス型カフェにおいては、女性の割合が高いものの（2011年3月-翌年2月:54.8%）、直近1年において男性の割合が45.2%と、前年同期に比べて+3.4ポイント伸びた。つまり、セルフサービス型カフェのサンドイッチ市場拡大を牽引したのは、男性層だということが分かる。

【図表 3】 サンドイッチ市場 性・年齢分布



以上のように、サンドイッチ市場は「シェアは高いがマイナス成長のコンビニエンスストア」と、「業界第2位のシェアでプラス成長のセルフサービス型カフェ」という構図が、近年の流れの一つであろう。さらに成長基調のセルフサービス型カフェでは、男性客の割合が増加している。今後のサンドイッチ市場を把握するうえで、この「コンビニ」「カフェ」「男性客」をキーワードとしてみていくと面白いかもしれない。（小野 雄大）

当該分析における「サンドイッチ」とは、サンドイッチ類やパニーニを含む。

※ [CREST\(クレスト\)](#)とは、約 20,000 人／月のサンプル数を誇る、2003 年より開始したサービスであり、外食・中食市場において‘いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか’ という情報を 1 年 365 日、直接消費者から収集し、データベース化した情報サービスです。

外食調査、中食調査に関するお問合せはこちら

エヌピーディー・ジャパン株式会社 セールス & マーケティング部
担当: 小野 雄大
Email; npdjapan.info@npd.com
〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 13F
Tel; 03-5798-7663 / Fax; 03-5798-7665

エヌピーディー・ジャパン株式会社とは

外食、中食市場におけるリサーチ業界のリーディング・カンパニーです。
弊社情報サービスを通じ、様々な場面でお客様の意思決定に貢献します。

【フードサービス事業部 サービス一覧】

- ① [CREST](#) … 外食、中食動向を把握できるグローバル・スタンダードの情報サービス
- ② [売れ筋メニューデータベース](#) … オリジナルメニューの分析ツール
- ③ [おすすめメニューデータベース](#) … 消費者の声が聞けるアイデアの宝庫